骨格予算も前年度を上回る 令和7年度当初予算 可決

3月定例会あらまし

令和7年第1回定例会は、3月4日に開会しました。

1日目は、補正予算や条例改正など18件の議案審議等を行い、いずれも原案どおり可決、同意等をしました。

11日　2日目は、一般会計、4特別会計及び2事業会計の令和7年度予算について審議し、いずれも原案どおり可決しました。

13日　3日目は、議員発議2件と意見書1件を原案どおり可決するなどし、閉会しました。

まずは、令和7年度当初予算の中身からお伝えします。

当初予算の概要は

令和7年度当初予算は、町長の改選期のため、骨格予算と呼ばれる継続事業を中心とした予算です。

しかしながら、一般会計に特別会計及び事業会計をあわせた予算総額は72億4，905万円と対前年比1．1パーセントの増となっています。これは令和に入ってから過去3番目に多い予算です。

また、一般会計の歳入のうち町税などの自主財源が占める割合は18．3パーセントに留まります。

なお、自主財源のうち総体的な財源不足に対応するため、財政調整基金などから計1億3，000万円を繰り入れることとなっています。

前年度を上回る理由は

令和7年度当初予算が前年度を上回るのは主に次の3つの理由からです。

1. **経常経費のうちの人件費や扶助費及び補助費等の増**
2. **継続的に事業を実施している防災・減災対策や道路整備など緊急性の高いインフラ整備**
3. **政府共通のクラウド基盤への移行経費がかさむため**

当初予算の主なものは

町民の安全・安心を第一に編成された当初予算。その中から主な事業についてお伝えします。

防災・減災対策

大津地域津波緊急避難場所避難路整備工事　3億7，260万円

道道大津長節線からトンケシ緊急避難場所へ抜ける避難路を新たに整備します。

28ページからの委員会レポートもあわせてご覧ください。

茂岩新和町地区小規模治山工事　2，800万円

茂岩新和町の急傾斜地崩壊危険箇所において、土砂災害防止のために土留工を行います。

社会基盤の整備

町道の整備・橋りょう補修　4億1，700万円

幌岡第3幹線、幌岡西2線の改良舗装や町道に架かる橋りょうの長寿命化補修を行います。

除雪専用車購入　9，100万円

除雪専用車（10トン級）1台を購入します。

農林水産業の振興

道営農地整備事業　3，580万円

農地の生産性向上を図るため、区画整理や暗渠排水等の整備を行います。

鳥獣被害防止対策事業補助金　200万円

電気牧柵や超音波装置などの購入費用を補助します。

Q **坂口議員　昨年度の予算額300万円から減額した理由は。**

A 今までの交付実績をもとに計上しました。令和7年度から新たに進入防止ネットを対象に加えます。

Q **坂口議員　農業者への周知は徹底しているか。**

A 令和6年度は文書で4回お知らせしました。令和7年度は4月の農作業に間に合うよう、3月中に希望調査を行います。

林道開設工事　8，112万円

町有林造林事業の推進のため、林道開設工事を行います。

漁船上架機材保管施設整備事業補助金　7，577万円

船揚げ場で使用している機材を塩害から守るための保管施設の整備に対し補助します。

福祉の充実

福祉タクシー乗車券交付事業　627万円

高齢者世帯にタクシー乗車券（基本料相当額分）を区分に応じ1世帯あたり24枚から72枚交付します。

次世代育成支援金支給事業　1，730万円

出産祝金など子どもを育てる保護者へ支援金を支給します。

その他

町制施行60周年記念事業　1，123万円

町制施行60周年を記念し、八神純子はるにれコンサートなどさまざまな事業を行います。

ガバメントクラウド移行　5，160万円

住民情報や税など自治体の基幹業務システムを政府共通のクラウドサービスへ移行するための経費。

※特別会計も含めたものです。

各会計の予算額

各会計の予算額は左の表のとおりです。

令和７年度　各会計の予算額			前年比
		一般会計　55億1,700万円	1.3%
特別会計・事業会計	特別会計	国民健康保険　5億7,932万円	0.1%
		介護保険　4億743万円	7.7%
		後期高齢者医療　8,006万円	3.1%
		医療施設　8,011万円	△1.5%
		11億4,692万円	2.7%
	事業会計	簡易水道事業　3億1,961万円	△5.3%
		公共下水道事業　2億6,552万円	△1.6%
		17億3,205万円	0.5%
		合計　72億4,905万円	1.1%

※1万円未満は四捨五入しています。